

◆特別会計の概要

※各会計の表中の「純計額」とは、予算総額から一般会計からの繰入金を除いた額です。

(1) 国民健康保険特別会計

(単位：千円、%)

	18年度	17年度	比 較	
			増 減 額	増 減 率
予 算 総 額	11,625,060	11,580,365	44,695	0.4
純 計 額	10,545,818	10,475,587	70,231	0.7

これまでの医療給付費における決算を勘案した中で、医療給付総額（老人保健拠出金等を含む）を11,625,060千円（対前年比0.4%増）、年間延べ受診件数を556,944件（対前年比12.6%増）と見込んでおります。なお、加入世帯は28,460世帯（対前年比1.3%増）、加入者数は51,141人（対前年比1.2%減）を見込んでおります。

(2) 公共下水道事業特別会計

(単位：千円、%)

	18年度	17年度	比 較	
			増 減 額	増 減 率
予 算 総 額	6,627,636	6,512,090	115,546	1.8
純 計 額	3,741,812	3,535,768	206,044	5.8

18年度の整備予定は、実籾本郷污水幹線をはじめとする管渠整備を推進し、津田沼、印旛、高瀬の3処理区で処理区域の拡大を図ります。整備面積18.24ha、整備延長5,154mを実施することにより、18年度末下水道普及率81.0%（17年度末下水道普及率見込み80.1%）となる見込みです。

(3) 老人保健特別会計

(単位：千円、%)

	18年度	17年度	比 較	
			増 減 額	増 減 率
予 算 総 額	7,890,101	7,787,959	102,142	1.3
純 計 額	7,301,646	7,267,473	34,173	0.5

これまでの医療給付費における決算を勘案した中で、医療給付総額を7,854,278千円（対前年比1.3%増）、年間延べ受診件数を342,424件（対前年比3.6%減）、1件当りの平均医療給付費を22,937円と見込んでおります。

(4) 介護保険特別会計

(単位：千円、%)

	18年度	17年度	比 較	
			増 減 額	増 減 率
予 算 総 額	5,285,182	4,988,453	296,729	5.9
純 計 額	4,371,484	4,149,548	221,936	5.3

18年度から20年度までの第3期介護保険事業計画に基づき、65歳以上の高齢者人口25,757人（対前年度1,281人増）、要介護認定者数3,405人（対前年度335人増）、居宅サービス利用者数2,167人（対前年度360人増）、施設サービス利用者数619人（対前年度124人減）を見込んでおります。

なお、18年度介護保険法改正に伴い、取り組むこととなる主な事業内容は次のとおりです。

①介護予防事業

運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上、閉じこもり予防・認知症予防・うつ予防等の支援を実施

②包括的支援事業・任意事業

介護予防事業のケアマネジメント、総合相談、虐待の早期発見・防止、困難事例に関するケアマネジャーへの指導・助言等の実施、その他任意事業

③地域密着型サービスに対する指定・指導監督等

夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、認知症対応型共同生活介護等

④保険者機能の強化

地域密着型サービスに関わる事業者への立ち入り調査や都道府県の事業者指定に当たっての意見提出

⑤保険料の徴収方法の見直し

天引き年金対象の拡大など、保険料徴収の利便性の確保として、特別徴収方法の見直しを行う